

# 昭和南海地震60年 海岸法施行50周年

～迫りくる地震津波の脅威に立ち向かう地域の総合力とは～

主催：財団法人沿岸技術研究センター(CDIT)

共催：高知新聞社・RKC 高知放送

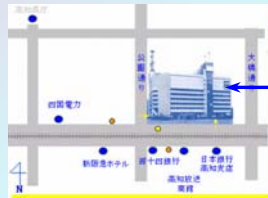
後援：国土交通省四国地方整備局・農林水産省中国四国農政局・高知県・高知市・須崎市

昭和南海地震から60年、海岸法施行50周年。空白の時間を経て再び巨大地震の脅威がせまる中、いのちを、暮らしを、そして地域産業を守るため、防災・減災は地域の総合力で対応する必要があります。また安全・安心な地域づくりをめざす様々な取り組みが、地域の活力を蘇らせ、地域再生のあしがかりとなります。本シンポジウムは、こうした防災・減災への取り組み方や海岸のあり方を考える上で共通認識醸成の場とすべく開催いたします。

【開催日時】 平成18年5月9日(火)  
18:00～20:30(開場 17:30)

【開催場所】 RKCホール(駐車場無し)  
住所：高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館 西館 6F  
TEL:088-825-4321

【参加費】 無料



◇基調講演 18:20～19:00◇



東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター教授 **今村文彦氏**

(いまむら ふみひこ 1961年生/専門：自然災害科学、津波工学)

テーマ：地震・津波の災害と地域での防災力ー2004年インド洋大津波を教訓として

◇パネルディスカッション 19:05～20:25◇

テーマ：「防災・減災のための地域の総合力とは」



写真：昭和南海津波の被害(須崎市HPより掲載)

◆コーディネーター：宮田速雄氏(高知新聞社 編集局長)

◆パネリスト：岡村真氏(高知大学理学部 教授)

(順不同)

作山健氏(日本オイルターミナル(株)高知営業所長)

梅原康司氏(須崎市防災担当参事)

宮村映子氏(種崎地区津波防災検討会長)

小谷野喜二氏

(沿岸技術研究センター沿岸防災技術研究所 研究主幹)

◆コメントーター：今村文彦氏(東北大学大学院 教授) 他

【お申込方法】

- ・ ホームページ <http://www.cdit.or.jp/> からお申し込み。
- ・ ハガキ、FAXにて①氏名(フリガナ) ②勤務先(フリガナ・業種) ③住所 ④電話・FAX番号を明記のうえ下記までお申し込みください。

※お預かりした情報は、当講習会の受付ならびに講習会に関するご連絡のみに使用致します。

【お問い合わせ先】

財団法人沿岸技術研究センター企画部「CDIT シンポジウム in 高知」係

住所：〒102-0092 東京都千代田区隼町3-16

TEL:03-3234-5862 / FAX:03-3234-5877 <http://www.cdit.or.jp/>



土木学会CPD認定